

二町内自治会新聞

二町内 防災の日

事務局
村上徹郎
TEL
368-5384
住所
健軍本町
26-3

我が町内では、自主防災クラブを設立して三年になります。これまでに取り組んできたことは、クラブ内の組織づくりと消防署を呼んで人工蘇生法の習得や地震車体験、消火訓練などでした。このような体験を通して、住民の防災意識を高めることに力を入れてきました。

防災避難訓練

これが一番重要で難解な課題でした。なかなか踏み切れずにいたところでした。熊本市健康福祉課の高取さんから肩をたたかれ、漸く踏み切った次第です。

それと並行して、防災に必要な備品を揃えることにも力を注いできました。今年になって国からの支援を受けることになり、発電機、ハロゲン灯、光機、トランシーバー、リヤカー、救急薬品等百万円相当を購入いたしました。

次にやらなければならぬことは、災害を想定した避難訓練でした。住民三千人を対象とした避難訓練は、一大行事でした。

自主防災クラブの組織は、①情報連絡部②救護部③救出部④避難誘導部の四つの部から編成しております。今回の避難訓練で部長さんを中心に計画を立て、訓練ができました。

今回は、災害時要援護者の救出を第一の目的としました。町内には、該当者が十名おられます。その内五名の方が訓練に参加されました。一人に三名を配することになれば十名の場合救出係は三十名が必要になります。現在救出部は、部長、副部长二名を含めて、十八

名で全然足りません。しかも勤めのある人は、土曜、日曜日でも参加できない方がおられます。そのような訳で校区の消防団にも協力を要請した訳です。

このように熊本市健康福祉課、東部保健センター、健軍消防署、校区消防団の皆さんの協力により、午前十時爆竹の合図で避難訓練を開始しました。情報、救護、救出、避難誘導の連携宜しく避難訓練は、スムーズに進むことができました。子ども会を初め百数十名の参加者があり第一回目としては、大成功を収めました。

その原因の一つは、主旨を理解して参加して下さった皆さんです。それと各部の皆さんの創意をこらした準備、隣保を区別した地図、隣保ごとの参加名簿、諸表示看板等が大変役立ちました。第一の目的である災害時要援護者との連携が取

二町内防災の日

れ避難訓練ができたことが何よりでした。

これを機会に、「二町内防災の日」を毎年一回十月か十一月に取りたいと思っております。

今回は、熊本市健康福祉局を初め東部保健センター、健軍消防署、校区消防団等の協力がありましたが災害の場合これらの協力はないものと考えなければなりません。特に救出部は、大幅に人員の補充をする必要があると思えます。

それと今回の訓練の反省を十二分に行い次回に生かしていかなければならないと思ひます。
敬老会盛会に終わる
長年の念願でありました敬老会が子ども会の協力もあり、公民館主催で行うことができました。来年から敬老の日を設けて、お祝いを続けたいと思っております。年寄りを敬う心は、日本の古き良き伝統の重要な柱ですね。人生の大先輩であり、今の社会の繁

栄の功労者でもあります豊かな経験を子ども達へ、そして地域社会へ還元して頂かねばならないと思っております。敬老の日に限らず「敬う心」で接していきたいと思ひます。

地蔵堂修復工事寄付金

皆さんのご協力により、三十万円を越す寄付金が集まりました。第一回目としては、予想以上の金額でした。御協力有難うございました。最終的には、五十万円程度にしたいと思っております。

今日から第二の募金活動を始めさせて頂きました。これからの募金活動は、自治会が執り行います。宜しく願ひします。

公園花壇の花植え

期日 十二月十一日午前七時より行います。今年最後の清掃日です。町内の皆さん一人ひとりが公園愛護会の会員です。どうぞ誘ひ合わせの上ふるってご参加下さい。花の苗は、三色すみれ(ハンジ)です。

香典返し

故小田 稔様の七七忌の法要のあと奥様小田幸子様より、自治会に香典返しを頂きました。改めまして故小田 稔様のご冥福をお祈りして、寄せられました浄財は、町内のため有効に使わせて頂きたいと存じます。有難うございました。

子どもを守る会

健軍小学校一年生の子ども達と「伝承遊び」をした後「ふれあい給食」をしました。東 時雄様より竹馬五脚、森下幸雄様より竹とんぼ百五十機が子ども達へ寄贈されました。伝承遊びもふれあい給食も楽しく、子ども達との良い触れ合いができました(十月二十三日)

子どもを守る会への寄付

三年間子ども達に愛された石原先生が体調不良のため「子供を守る会」を止められることになりました。奥様よりきちんと洗濯された帽子とグリンベストに添え、金一封を頂きました。(感謝)